

高単位第Ⅷ因子濃縮製剤を用いた 血友病A患者の抜歯療法の再検討

研究協力者

帝京大学第一内科 安部 英

目的：高単位FⅧ濃縮製剤の使用により、血友病患者の血中FⅧを高レベルで保つことが容易となったが、我々はこれを基にして創口の一次的閉鎖を行ない、出血を最少に留めるような血友病の抜歯条件を検討した。

I. 補充療法の検討

抜歯に際してのFⅧ補充レベルの効果を2、3の症例で検討すると、持続出血や後出血はFⅧレベルが20%以下に低下した場合に認められた。したがって抜歯に際しては抜歯直前FⅧレベルをほぼ100%に上昇せしめ、以後7日目迄は1日2回血中レベルを80~60%に上昇せしめることとした。

II. 抜歯時の局所処置

局麻後輪状靭帯をメスで切離し、挺子はいわずに鉗子のみで抜歯した。炎症性肉芽を搔扱し、鋭利な骨端はヤスリで鈍とした。抜歯孔にトロンビン・コーンを挿入したのち5-0あるいは6-0番縫合糸と丸針で創口を緊密に縫合した。閉鎖した創上にシリコン・ガーゼさらにアドレナリンを浸したガーゼを重ね、予め用意したセルロイド・シーネを歯列全体にかぶせた。セルロイド・シーネは半透明で出血の発見が容易であり、必要に応じて脱着が可能、また長期間装置しても軟組織の損傷が少ないなど、従来使用されていたsurgical packに比して幾多の利点が認められた。

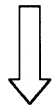
術後3日目から患者は食餌摂取可能となり、一週間かけて逐次抜歯を行なった。

上記の補充療法と局所処置を併用して約40例の血友病Aに対し単数~複数同時の抜歯を行なったが、何れの例にも異常な出血は全く認められず、平均入院期間は10日であった。

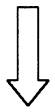
図はその一例で異常出血は全く認められていない。

結論 高単位FⅧ濃縮製剤を用いて血友病A患者の血中濃縮度を20%以上に保つことにより、抜歯創を一次的に閉鎖し、短期間に抜歯後の治癒を達成することが可能となった。

Diag ED: ED:DE C	A Eyt Curetase Suture(closed) Silicon.Sphat	P palpectomy EP metal Crown set	removal of the baylor thread	DE pulpectomy mstol crown ED metal crown	HEMOPHILIA ④ B.
Bleeding	GOT 37 28 GPT 46 24 LDH 426 472 ALP 196 178				Name Hideyoshi Oami Birth S.50.3.2. (ky) F.VIII. IX 21% No. 058-381x2 Date S.54.6.18. Admission S.54.9.10. S.54.9.20.
Liver Function	25.4 17.5 13.8 52 75 48.1 84.8 150 180 3.0 3.0 20 10.1 64 68 74 74 2 80	1.5 12.3 21.1 100 100 100 36.3 34.1 35.8 45 210 145 5.5 5.5 5.0 101 101 101 64 64 78 82 64 76 28 74 52	12.1 12.7 12.5 108 75 100 38.5 35.8 35.7 225 100 230 6 6 101 101 67 60 82 92 25 52 38	48 64 437 18.1	
P.t					Blood(A), Rh(+) HBs ag(-), ab(-) Wa.R. (-)
P.T			12.5 12.8 12.1 100 94 100 48.8 39.8 40.3		Weight 17.5ky
A-P.T.T.			18.5 18.5 18.5		Family Anamnesis
Fibrinogen			8 8 8		Δ 72 ♀ 69 Δ 94 - ♀ 70 Δ 40 - ♀ 35
U-glob.L.T.			10 10 10		♀ 5 84 90.5 mothers : hemophilia
F.D.P.			86 88 88		History: birth : normal
Thrombo-T.			78 84 78		Ig bleeding of extremity - diagnosis
Hepaplastin T.			13 38 19		Oral Csvely S.54 multiple dental cares
F.VIII %			30 / 4 0 30 / 4 5 30 / 4 5		S.54 10.9 Pediatrics admission (hepatitis) 11.20 discharge
F.VIII conc. (u.)			total dosis F.VIII conc. 5500u./qd mear 611u./d expect (750u.) 85.1% (500u.) 57.1 (250u.) 28.5		
F.VIII titer %			500u. → 28.5 u./ky 250u. → 14.2 u./ky		
Hospital Day					



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



目的:高単位F Ⅲ濃縮製剤の使用により、血友病患者の血中FⅢを高レベルで保つことが容易となったが、我々はこれを基にして創口の一次的閉鎖を行ない、出血を最少に留めるような血友病の抜歯条件を検討した。